

ALTとJTEの関係作りについて

2019 Skills Development Conference

Ice Breaker

Q: Is Kumamoto a boy or a girl?

A: Both. Kumamoto-*shi* is a girl and Kumamoto-*ken* is a boy

概要

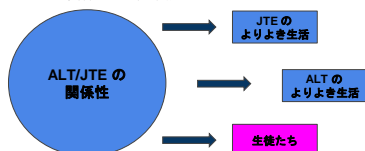
1. 導入
2. 授業での関係
 - 授業のための効果的な協力体制
3. 授業外での関係
 - TTの相手と友情を育むこと
4. グループディスカッション
 - TTにおける困難な関係への対処法
5. 結論
6. 質疑

1. 導入

- 私たちは何者? ティームティーチングの相方
 - JTE: 日本人の英語教師
 - ALT: 言語指導助手
- 職業上のパートナー: よいもの(=英語の授業)を作り出すために協力する関係
- 2つのタイプ...
 - タイプ1: ALTが授業をリードする
 - タイプ2: JTEが授業をリードする

1. 導入

- なぜこの関係は重要な問題なのか?



2. 授業の中での関係

- 準備
 - 授業創造における協力
 - 授業に対し主体的に関わる感覚を共有すること
 - 授業前の話し合い
 - 不自然な問合いを軽減し、同じ土俵にいる感覚を確実にする
- コミュニケーション
 - 柔軟な考えを持ち、助言に対し心を広く持つ
 - 授業はいつでもよりよくできる。TTの相方があなたの気づかない何かに気づくこともあるかも
 - 授業中の行う教師同士のやりとりには注意深さも必要
不和なやりとりは生徒が授業の集中をなくす種となる

2. 授業中の関係

- お互いに補完し合う関係を: お互いの強みに焦点を当てて
- **討論質問:** JTEsの持つ典型的な強みは何か? ALTsの持つ典型的な強みは何か?

ALTの強み

- 文化的内容を提示できる
- 日本の外側から見た視点
- 創造的な自由度(特定の内容に縛られない)

JTEの強み

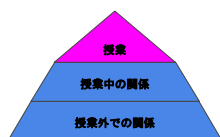
- 経験
- 個々の生徒の性格や能力をよく知っている
- 文法などの知識が深い
- 日本語に長けている

3. 授業外での関係

- **雑談**
 - 何でもいいから話すこと
 - 時事的な話題, 政治, 娯楽, 冗談, etc.
 - 言語や文化の差を超えて気持ちをやりとりすることを自然に行う
- **個人的なことの話**
 - 良いことも悪いことも話す
 - お互いの状態が、いつもよいときばかりではないことを理解すること
 - 精神的・身体的・健康面などにおいて
 - TTは、必要に応じてお互いに相手をカバーし合うことができる

3. 授業外での関係

- **社会的な関係作り**
 - 宴会, 飲み会, 部活動, 文化祭, 旅行, 温泉, etc.
 - 職場環境の外で会うことはお互いの性格を理解し関係を築くうえで大切
 - TTの相手の誰もがあなたの親友になるわけではありません。しょうがない



4. グループディスカッション

仮定 #1: あなたのTTの相方は、予想がつかない行動を取る。時には授業に遅れてくる。教室に全く来ないこともある。そんな人を授業の準備の際にあてにはできない。あなたならどうしますか?

- 進んで助けになってくれる人に頼る
- その相手はいないという予想のもとで授業作りを進めてみる
- 人を愛えることはできないから、できることで最善を尽くすしかない

4. グループディスカッション

仮定 #2: あなたは日本語のとても苦手なALTです。あなたのJTEの英語力はとても低いです。授業中にコミュニケーションを取ることが難しく、生徒達も戸惑ってしまいます。どうしたらいいでしょう?

- 日本語を勉強しよう
- 質問を予想し、日本語の指示や訳を授業の前に準備しよう

4. グループディスカッション

仮定 #3: あなたのTTの相方はとてもシャイです。教室の外でも、お互いに話すことはありません。お互いのことをよく知らないままなので、授業はいつも緊張してしまい、ごちなくなります。どうすればいいでしょう?

- 授業の内容をTTの相手のくつろげるような内容に合わせよう
- 相手をランチやお茶やイベントなど、何でもいいので誘ってみては
- TTの相手の誰もがあなたの親友になるわけではありません。しょうがない

5. 結論

1. JTE/ALTの関係は、それぞれの、そしてさらに、生徒達の、毎日の生活の幸福感に影響を与える。
2. 最も効果的な授業作りのために、お互いの強みを頼りましょう。
3. 授業外での強い関係作りが、授業内での強固な関係につながり、素晴らしい授業を導く。

質問